

・電気料金見直しの内容

1. 実施期日

平成20年9月1日から実施いたします。

2. 前 提

(1) 原価算定期間

原価算定期間については、今後の景気見通しや燃料価格の動向など経営を取り巻く環境が不透明なことから、平成20年4月から平成21年3月までの1年間といたしました。

(2) 諸元（平成20年1月～3月の通関統計実績による。）

為替レート・・・107円/\$

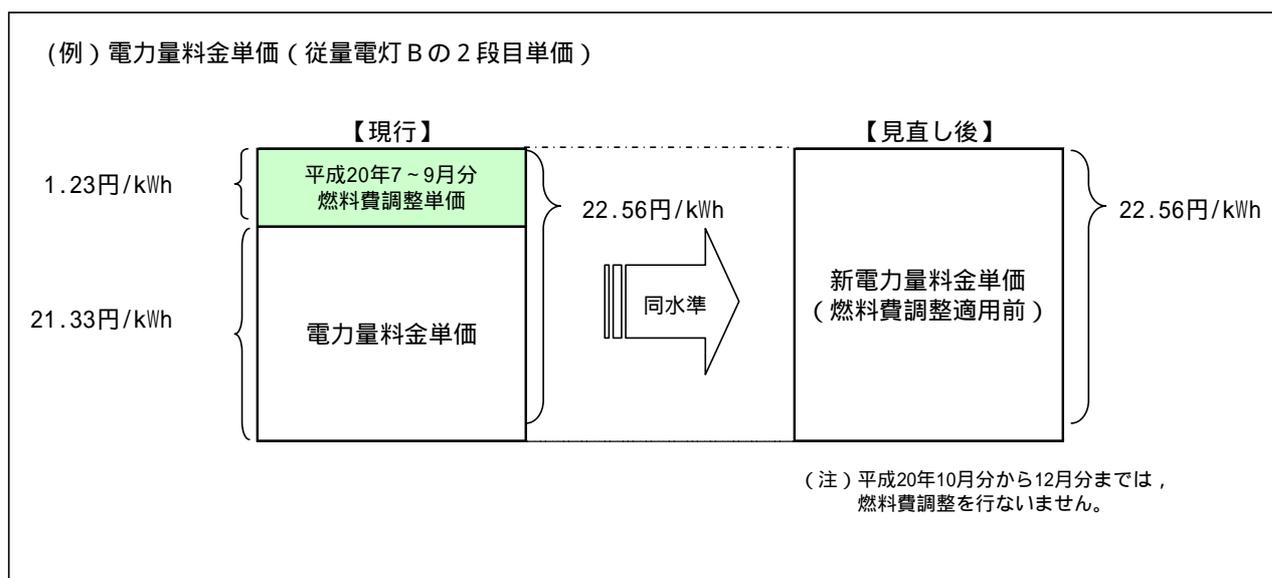
原油価格・・・93.0\$/b

3. 供給約款および選択約款の見直し内容

(1) 電力量料金単価の見直し

新電力量料金単価は、現行の電力量料金単価に平成20年7月から9月分適用の燃料費調整単価を加えたものと同水準といたします。

今回の見直しによって、ご契約内容・ご使用電力量等の電気料金を算定する際の条件が同一の場合、平成20年8月分と比較して同年9月分の電気料金（ご負担額）が増えることはありません。



(2) 燃料費調整額算定の基となる数値の見直し

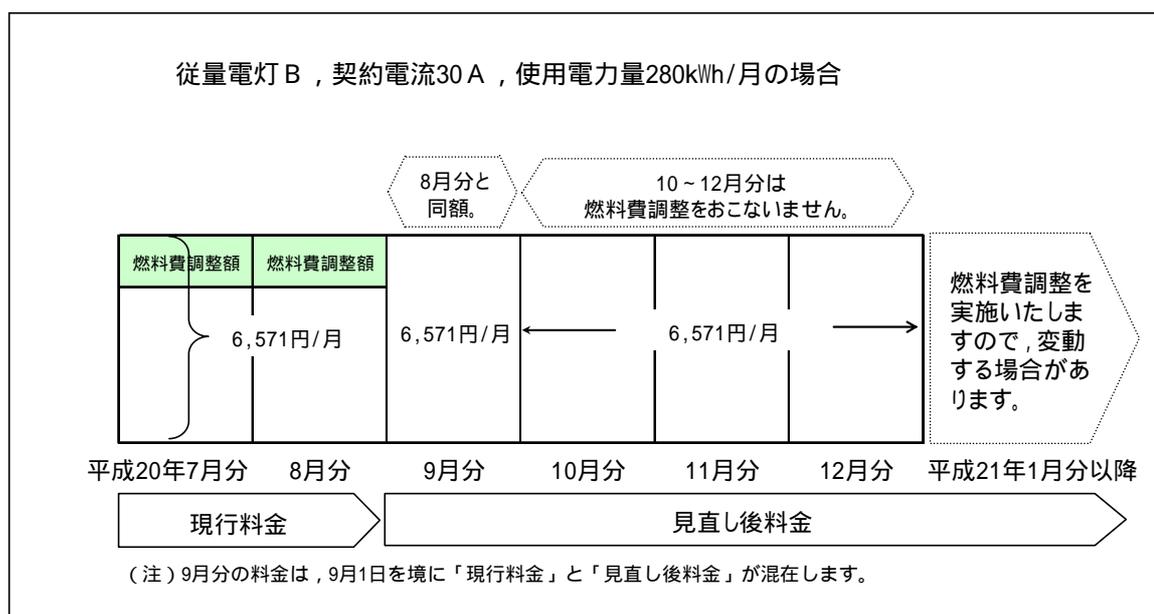
燃料価格の増減を四半期ごとに電気料金に反映させる燃料費調整について、燃料費調整額算定の基準となる基準燃料価格等を、次のとおり見直いたしました。

項目	内容	現行	見直し後
基準燃料価格	見直しにともない設定する基準となる燃料価格	23,000 円/kl	31,000 円/kl
燃料費調整を行わない範囲	燃料費調整を行わない平均燃料価格の範囲 (基準燃料価格の±5%)	21,900 ~24,100 円/kl	29,500 ~32,500 円/kl
上限価格	平均燃料価格の上限値 (基準燃料価格の1.5倍)	34,500 円/kl	46,500 円/kl
基準単価	平均燃料価格が1,000 円/kl 変動した場合の調整単価	0.148 円/kWh	0.171 円/kWh

- ・燃料価格の高騰などにより、基準燃料価格が現行より上昇いたしました。
- ・基準燃料価格の見直しにより、燃料費調整を行わない範囲が現行より拡大いたしました。また、燃料費調整単価を算定する際の上限価格は現行より上昇いたしました。
- ・基準単価の変更により、燃料費調整単価の変動幅(プラスマイナス)は、現行よりも大きくなります。(上表の基準単価は低圧供給の従量制で、消費税等相当額を含みます。)

(3) 平成20年10~12月分の燃料費調整の適用中止について

平成20年10~12月分の電気料金については、燃料費調整を行いません。
なお、平成21年1月分以降は燃料費調整を実施いたします。



燃料費調整制度について

概要

燃料費調整制度は、為替レートなどの経済情勢の変化に伴う輸入火力燃料（原油、LNG、石炭）の価格変動を料金に反映させるため、燃料価格の変動に応じて一定の基準のもと自動的に電気料金を調整するものであります。

具体的な調整にあたっては、通関統計による四半期毎の平均燃料価格が基準燃料価格（31,000 円/kI）の上下 5% を超えて変動する場合に、当該平均燃料価格と基準燃料価格との差にもとづき算定された燃料費調整単価を、翌々四半期の使用電力量に適用して調整いたします。

ただし、四半期毎の平均燃料価格が上限価格（基準燃料価格の 1.5 倍）を超える場合には、燃料費調整単価は上限価格により算定することとし、上限価格を上回る分は燃料費調整の対象といたしません。

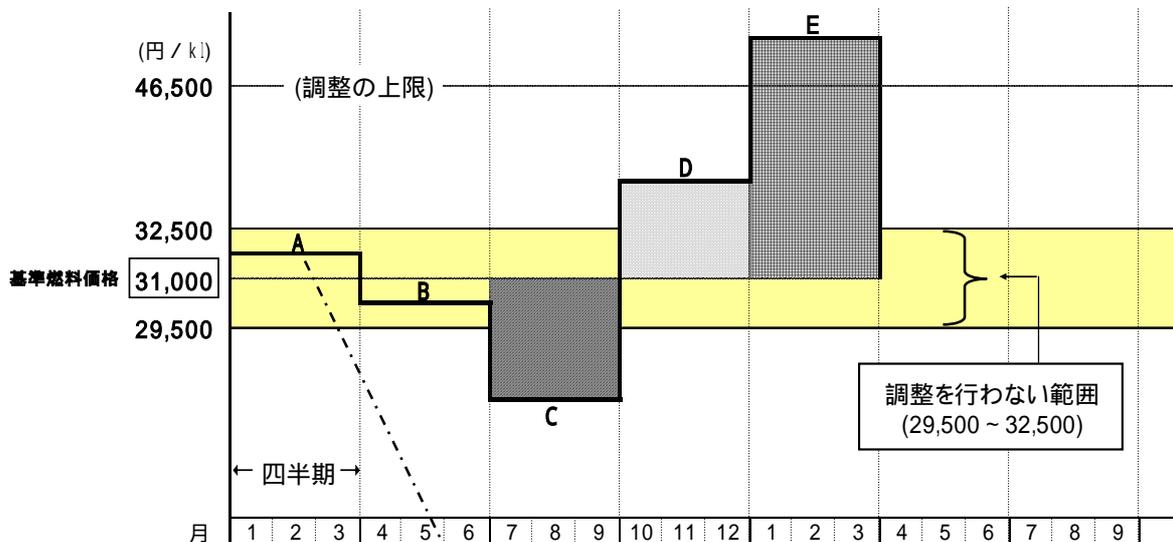
概念図

AおよびB：小幅な変動のため調整しない場合

CおよびD：変動に応じて調整する場合

E：大幅な上昇のため上限価格にとどめて調整する場合

平均燃料価格



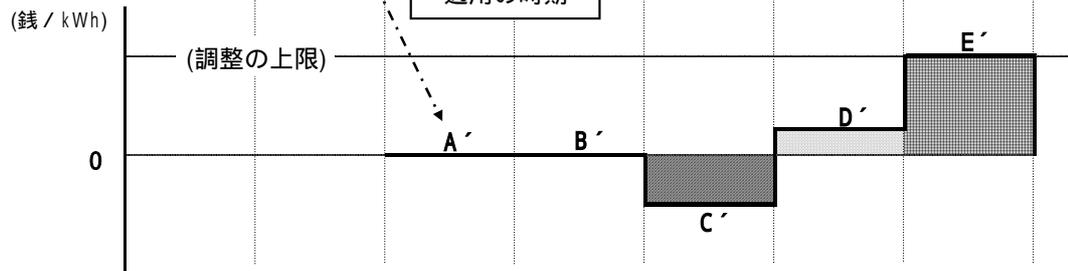
燃料費調整単価

(銭 / kWh)

(調整の上限)

0

適用の時期



規制部門の主要料金単価

供給約款メニュー

(従量電灯)

従量電灯 A

アパート共用部分の廊下の照明などのメニューです。

(円)

区分		単位	新料金単価 (税込み)
A	最低料金 最初の7kWhまで	1契約	243.60
	電力量料金 上記をこえる	1kWh	16.81

従量電灯 B、従量電灯 C

従量電灯 B , C は、照明や家庭用電気機器の利用など、一般のご家庭などでお使いいただくメニューです。

(円)

区分		単位	新料金単価 (税込み)	
B	基本料金	10アンペア	1契約	315.00
		15アンペア	1契約	472.50
		20アンペア	1契約	630.00
		30アンペア	1契約	945.00
		40アンペア	1契約	1,260.00
		50アンペア	1契約	1,575.00
		60アンペア	1契約	1,890.00
	電力量料金	最初の120kWhまで	1kWh	16.81
		120kWhをこえ300kWhまで	1kWh	22.56
		300kWhをこえる	1kWh	24.17
最低月額料金		1契約	243.60	
C	基本料金		1kVA	315.00
	電力量料金	最初の120kWhまで	1kWh	16.81
		120kWhをこえ300kWhまで	1kWh	22.56
		300kWhをこえる	1kWh	24.17

(低圧電力)

工場のモーターや事務所のクーラーなどの動力をお使いいただくメニューです。

(円)

区分		単位	新料金単価 (税込み)
基本料金		1kW	1,207.50
電力量料金	夏季	1kWh	12.79
	その他季	1kWh	11.74

(公衆街路灯)

道路、橋などの街路灯をお使いいただくメニューです。

(円)

区分		単位	新料金単価 (税込み)	
A	需要家料金		1契約	52.50
	電灯料金	20Wまで	1灯	92.61
		20Wをこえ40Wまで	1灯	169.47
		40Wをこえ60Wまで	1灯	246.33
		60Wをこえ100Wまで	1灯	400.05
		100Wをこえる1灯につき100Wまでごとに	1灯	400.05
	小型機器 料金	50VAまで	1機器	164.57
		50VAをこえ100VAまで	1機器	278.75
		100VAをこえる1機器につき100VAまでごとに	1機器	278.75
B	基本料金		1kVA	283.50
	電力量料金		1kWh	15.25
	最低月額料金		1契約	213.15

選択約款メニュー

(時間帯別電灯)

時間帯別電灯 A (夜間 8 時間タイプ)

食器洗い乾燥機などタイマー機能を活用し、電気のご使用を夜間時間帯へ移行することができるお客さまに適したメニューで、夜間 8 時間タイプとなっております。

時間帯別電灯 B (夜間 1 0 時間タイプ)

時間帯別電灯 A と同様に電気のご使用を夜間時間帯へ移行することができるお客さまに適したメニューで夜間 1 0 時間タイプとなっております。

(円)

区分		単位	新料金単価 (税込み)	
A	基本料金	6kVA以下の場合	1契約 1,365.00	
		6kVAをこえる場合最初の10kVAまで	1契約 1,890.00	
		上記をこえる	1kVA 315.00	
	電力量料金	昼間	最初の90kWhまで	1kWh 19.86
			90kWhをこえ230kWhまで	1kWh 26.75
			230kWhをこえる	1kWh 28.66
		夜間	1kWh 8.41	
	5時間通電機器 割引額	電気温水器	1kVA 241.50	
		蓄熱式電気暖房器等	1kVA 189.00	
	通電制御型夜間 蓄熱式機器割引額	電気温水器	1kVA 199.50	
		蓄熱式電気暖房器等	1kVA 168.00	
	最低月額料金		1契約	315.00
B	基本料金	6kVA以下の場合	1契約 1,365.00	
		6kVAをこえる場合最初の10kVAまで	1契約 1,890.00	
		上記をこえる	1kVA 315.00	
	電力量料金	昼間	最初の80kWhまで	1kWh 21.97
			80kWhをこえ200kWhまで	1kWh 29.65
			200kWhをこえる	1kWh 31.78
		夜間	1kWh 8.58	
	8時間通電機器 割引額	電気温水器	1kVA 31.50	
		蓄熱式電気暖房器等	1kVA 21.00	
	5時間通電機器 割引額	電気温水器	1kVA 262.50	
		蓄熱式電気暖房器等	1kVA 199.50	
	通電制御型夜間 蓄熱式機器割引額	電気温水器	1kVA 231.00	
		蓄熱式電気暖房器等	1kVA 189.00	
	最低月額料金		1契約	315.00

-時間帯別電灯 S -

アパート・マンションなどにお住まいで、使用量が比較的少ないお客さまに適したメニューです。

(円)

区分			単位	新料金単価 (税込み)		
S	基本使用料金	6kVA以下の場合		1契約	5,565.00	
		まったく電気を使用しない場合		1契約	682.50	
		6kVA超過の場合	最初の10kVAまで		1契約	6,090.00
			10kVA超過分		1kVA	315.00
		全く電気を使用しない場合	最初の10kVAまで		1契約	945.00
	10kVA超過分		1kVA	157.50		
	電力量料金	昼間	200kWhをこえる		1kWh	33.24
夜間		1kWh	8.58			

(低圧季節別時間帯別電力)

工場のモーターや事務所のクーラーなどの動力をお使いいただくご契約で、夜間や早朝などにお使いいただく電力量が多いお客さまに適したメニューです。

(円)

区分			単位	新料金単価 (税込み)
基本料金			1kW	1,312.50
電力量料金	昼間	夏季	1kWh	14.23
		その他季	1kWh	12.69
	夜間		1kWh	8.58

(低圧高稼働契約)

ご使用の規模が比較的大きな商店や飲食店などで、低圧供給の電灯と動力とあわせてご使用され設備の稼働率が高いお客さまに適したメニューです。

(円)

区分			単位	新料金単価 (税込み)
基本料金			1kW	1,470.00
電力量料金	夏季		1kWh	15.05
	その他季		1kWh	13.79

(深夜電力)

深夜電力は、電気温水器などの目的に電気をお使いいただくメニューです。

- 深夜電力 A -

台所・洗面所専用など 0.5 キロワットまでの小型の電気温水器に適したメニューです

- 深夜電力 B - (夜間 8 時間タイプ)

通電制御型夜間蓄熱式機器には割引措置があります。

- 深夜電力 C - (夜間 5 時間タイプ)

(円)

区分		単位	新料金単価 (税込み)
A		1契約	989.56
B	基本料金	1kW	294.00
	電力量料金	1kWh	8.41
	通電制御型夜間蓄熱式機器割引額	上記によって算定された基本料金、電力量料金の合計金額の15%	
C	基本料金	1kW	199.50
	電力量料金	1kWh	7.47

(融雪用電力)

融雪用電力は、電気で雪を融かす目的でお使いいただくメニューです。

- 融雪用電力 A -

電熱(ヒーター)を融雪用としてご利用いただくメニューです。

- 融雪用電力 A II -

融雪用電力 A と同様に電熱を使用され、ご使用電力量の比較的少ないお客さまに適したメニューです。

(円)

区分		単位	新料金単価 (税込み)
A	基本料金	契約使用期間の最初の3月まで (1月につき)	1,239.00
		3月超過(1月につき)	357.00
	電力量料金		1kWh
A	基本料金	契約使用期間の最初の3月まで (1月につき)	651.00
		3月超過(1月につき)	157.50
	電力量料金		1kWh

- 融雪用電力 B -

ポンプなどを融雪用としてご利用いただくメニューです。

- 融雪用電力 B II -

融雪用電力 B と同様にポンプなどを使用され、ご使用電力量の比較的小さいお客さまに適したメニューです。

(円)

区分		単位	新料金単価 (税込み)	
B	基本料金	契約使用期間の最初の3月まで (1月につき)	1kW	1,869.00
		3月超過(1月につき)	1kW	441.00
	電力量料金		1kWh	9.26
B	基本料金	契約使用期間の最初の3月まで (1月につき)	1kW	934.50
		3月超過(1月につき)	1kW	210.00
	電力量料金		1kWh	20.05

II. 経営効率化への取組み

当社は、東北電力グループ中期経営方針(平成 19～23 年度)において、社会から「信頼される東北電力グループ」、お客さまから「選択される東北電力グループ」、質の高い業務を追求する「エネルギーサービスのプロフェッショナル」を目指して取り組んでおります。

特に最近の当社を取り巻く経営環境は、燃料価格の高騰や地球温暖化問題への対応、電力自由化による競争の進展への対応など、一層厳しさを増しております。

こうした中、これまで当社が進めてきた経営全般にわたる経営効率化に加え、今回の電気料金の見直しにあたっては、さらに経営効率化を全社的に深掘りすることとし、その成果として約130億円程度(下記「1. 今回織り込んだ効率化施策」が該当)を織り込んでおります。

具体的な効率化施策は、以下のとおりです。

1. 今回織り込んだ効率化施策

○業務運営の効率化

役員・従業員の人件費抑制、IP 電話導入等による通信運搬費の抑制、消耗品費、企業 PR・販売促進費などの抑制により、業務運営の効率化に取り組んでまいります。

○設備保全の効率化

安全確保、安定供給に向けた設備体質強化を進める一方で、工事内容を再精査し、修繕費等の効率化に努めてまいります。

○高効率火力発電所の効果的な運用

高効率コンバインドサイクル発電設備の稼働率を可能な限り高くするよう計画してまいります。

2. 継続的に取り組む効率化施策

- ・ 効率的な設備形成・運用・保守および業務運営を継続的に追求してまいります。
 - 中長期的視点に立った設備信頼度維持と効率的な設備形成・運用・保守の両立を図ってまいります。
 - お客さまへのサービス維持・向上と効率的な業務運営の両立を図ってまいります。

【発電機能】

コスト競争力の確保と地球環境保全の両立を図るため、原子力の安全・安定運転に向けた取組みをはじめ、以下の取組みを行ってまいります。

○高効率コンバインドサイクル発電設備の導入推進

平成 18 年 12 月には、東新潟火力 4-2 号系列 (84 万 kW) が営業運転を開始しており、今後も、高効率コンバインドサイクル発電設備の導入を推進してまいります。

○経年火力発電所の廃止とリプレースの推進

効率の低い火力発電所を廃止し、高効率コンバインドサイクル発電設備へリプレースすることにより、燃料費や CO2 排出量の低減を図ってまいります。

経年火力の廃止		高効率コンバインドサイクル発電設備へのリプレイス	
ユニット	廃止(予定)年月	ユニット	営業運転開始予定年月
仙台火力1号機	平成19年8月	仙台火力4号機 (44.6万kW)	平成22年7月
仙台火力2号機			
新潟火力3号機	平成21年7月	新潟火力5号系列 (10万kW級)	平成23年3月
新仙台火力1号機	平成27年度末	新仙台火力3号系列 (95万kW級) [LNG基地建設]	平成28年7月半量
新仙台火力2号機	平成23年度末		平成29年7月半量

○発電用燃料調達コストの抑制

燃料価格の高騰・需給逼迫化の中、発電用燃料の一層の経済的、安定的な調達に向けて、調達源(ソース)の多様化を進めてまいります。特に、サハリンⅡLNGや韓国C重油など、経済性のある近距離ソースの導入拡大を図ってまいります。また、燃料輸送面については、コスト競争力のある石炭専用船を最大限活用することに加え、今後、大型LNG船による受入をさらに進めることにより、燃料輸送の効率化を図ってまいります。

【流通機能】

○500kV基幹系統工事への新技術・新工法採用

十和田・北上幹線(平成18年着工、平成22年運開)をはじめとする大規模な送変電設備の新・増設ならびに昇圧工事の実施にあたって、500kV変電所への分解輸送変圧器の採用など新技術・新工法の採用や設備仕様の合理化により、より一層効率的な設備形成を図っております。

○7支店給電指令所から3系統給電指令所体制への移行

これまで、各県単位の7つの給電指令所で実施していた一次系統(154kV以上)の系統運用業務を、3つの系統給電指令所(平成19年3月に宮城系統給電指令所、同7月に青森系統給電指令所、平成20年3月に新潟系統給電指令所を設置)に統合しました。これにより、一次系統の系統運用業務のより一層の合理化・効率化に取り組んでまいります。

【販売機能】

○電気のご使用に関する受付・契約・請求業務の集中化

電気料金の計算や請求、入金管理業務を行なう「料金事務センター」を設置(平成12年8月)いたしました。また、全店の電話受付業務を一元的に行なう「コールセンター」を設置(平成16年8月)し、業務の集中処理による効率化に努めてまいりました。さらに、平成18年8月より、全店大の電気設備の新增設工事申込みを受付する「契約センター」を設置し、業務の集中処理を開始いたしました。

これら3つの集中処理センターを含め、これからもお客さまサービスの向上と業務効率化の両立に努めてまいります。

【間接機能】

○企業グループでのシェアードサービス(労務・経理業務の集中処理サービス)の拡大
企業グループ各社の間接業務(経理、決算、給与計算など)を集中処理する「シェアードサービス」を、関係会社に順次拡大していくこととしており、これまでに15社が利用しております。

これにより、業務の標準化とシステム共有を図り、グループとしてのコストを抑制しながら、業務処理の効率化・迅速化・適正化を進めております。

当社は、これまで安全確保を最優先に安定供給に向けた取組みを行うとともに、価格競争力の強化や財務体質の改善による経営基盤の強化など企業価値向上に向けた諸施策を展開してまいりました。経営効率化につきましても、経営全般にわたり継続的に取組みを行い、その成果を、電力小売市場の部分自由化が開始された平成12年以降、4度の電気料金引き下げ実施などに反映してまいりました。

現在の当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しておりますが、このような状況下においても、今後ともお客さまから信頼され選択いただけますよう、徹底した経営効率化に全社を挙げて努めてまいります。